

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5
TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615
発行人・山田敏明 編集人・西村一秋

とっとり退職者連合

鳥取退職者 連合発

「第4回ジェンダー平等学習会」に

男女共同参画の視点で、誰も取り残さない、
災害に強い地域をつくりましょう！！

40人参加！

鳥取退職者連合は、3月8日の「3.8国際女性デー」※にあわせ、4回目となる「ジェンダー平等学習会」を倉吉交流プラザ(倉吉市)において開催した。

今回の学習会は、鳥取県男女協働未来創造部所属、「よりん彩」でコーディネーターとして活躍されている澤田真美さん(写真右)を講師に迎え、「アンコンシャス・バイアスと災害時の課題」と題して講演をいただいた。



※3.8 国際女性デーとは？

1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源であるといわれている。

その後、1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて「パン・パラ」を掲げ、デモを行った。

以来、この日は「女性の政治的自由と平等のために行動する記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「パラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が展開されている。



アンコンシャス・バイアスとは
「アンコンシャス」=無意識 「バイアス」=偏見
過去の経験や知識、価値観などに基づいて自動的に認知したり判断したりするもので、日常生活や職場など様々な場面で見られる。自分では「偏ったものの方や考え方をしているとは気づいていない点」が特徴。



澤田さんは、さまざまな例を挙げながら、
“平常時にできないことは災害時にはなおさらできない”
気づいた“今”から行動していこう！ と訴えられた。



高齢者にとってジェンダー平等は生涯の課題となると考える。私たちは、古い伝統や習慣、社会意識としての「らしさ」から解放されていない。特に、性別役割分担意識は職場や家庭にはびこっていると感じている。

子や孫に「らしさ」の押しつけをしていませんか？

【講演より抜粋】

- 私たちは日常生活の中で、無意識のうちに、男性・女性で役割を意識していたり(例/男性は仕事をして家計を支えるべきだなど)、「男らしさ」や「女らしさ」という思い込みの判断(例/男性は人前で泣くべきでないなど)で人を傷つけたりしていることがある。
- 阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震の反省から/避難所運営は男性中心で行われることが多かったため、これまで女性の意見や声が避難所の運営に反映されないという問題があった。近年は、段ボールの間仕切りや簡易テントの利用などでプライバシーを守るなど、女性の視点からの災害対応が少しずつ進みつつあり、備蓄や支援物資(例/女性の必需品、育児・介護などで必要なものなど)に対する要望や、災害直後からの避難所生活についての困りごとなども認識されつつある。

- 映像資料「子どもの選ぶランドセル」からわかること/さまざまな色のランドセルを準備して、子どもたちに、①「お父さん・お母さんが喜びそうなランドセルを選んで」と言って選んだものと、②「本当にほしいランドセルを選んで」といって選んだものは全く違った。②のチョイスでは、男の子でピンクや白を、女の子でブルーや水色を選んだ子たちもいた。それを見た保護者は多少驚きつつも、目を輝かせて「このランドセルが好き！」と選んだことを肯定する姿が見えた。ただ、ピンクを選んだ男の子の保護者の「ピンクを選んだこの子を6年間守っていく」との発言には、今なおアンコンシャス・バイアスが深く存在することを物語っている。(寄稿 鳥取退職者連合 事務局長 西村一秋)



参加者アンケートより抜粋

- ・ 今まで「男女差」というものは当たり前のことと思っていたが、今日の話聞いて、まったく別のこともあることに気づいた。
- ・ 自分が昔リターンしたときに、赤い長靴を履いている男子小学生が、他の子どもからいじめられていたのを思い出した。
- ・ 昔からの思い込みがなかなか抜けないが、一考してからの行動、声を出すようにしたい。
- ・ 災害時に男性・女性が求めるものの違いを理解することが大事なことだと思った。
- ・ 防災の意思決定の場に、もっと女性を入れるべきと感じた。

■第29回グラウンド・ゴルフ大会

参加者大募集

お誘いあわせて
ご参加を！！

毎年秋に開催していた「グラウンド・ゴルフ大会」を今年度から春の開催に変更し実施します！
日頃からバッチリ練習している人も 初めてスティックを握る人も
懐かしい仲間たちと一緒に楽しみましょう♪

開催日 4月16日(木)／予備日4月17日(金)

場所 お台場公園・多目的広場(大栄道の駅西側)

待
っ
て
ま
す



受付開始 8時30分から
開会式 8時50分から
試合開始 9時10分 試合終了 11時30分
表彰式 12時00分から

☆少雨決行・雨天の場合は4月17日(金)に延期

- 団体戦 1チーム5人(登録者は固定・当日の変更は認めない)
産別ごとにチーム編成・チーム数制限なし
- 個人戦 団体戦に参加する者&個人戦に参加する者
- 競技方法 8ホール×2ゲーム
- 参加費 1人あたり500円 ※産別ごとに徴収
- その他 クラブとボールは各自で準備ください
※お持ちでない人は実行委員会で準備します(事前登録)
参加者全員に弁当を準備します♪
賞品も多数準備します♪(上位入賞者・とび賞その他)
※産別を通じてご案内していますので産別ごとにお申し込みください
申込〆切=4月9日(木)事務局必着

東部 地区協発

■鳥取市に「2026年度社会保障制度等に関する要請書」を提出！

3月3日(火)、東部地区協議会の田中照幸事務局長(左から2番目)と
連合鳥取東部地域協議会の山下浩二事務局長(一番左)が鳥取市役所に出向き、「2026年度社会保障制度等に関する要請書」を提出した。



◆要請(田中事務局長発言ポイント抜粋)

- ①訪問介護事業所について、中山間地では人が少なくなっているが、高齢者はいるので必要なこと。鳥取市独自の支援をお願いしたい。
- ②今後の地域医療維持の考え方について回答いただきたい。
- ③今回、初めて「農業問題」について要請事項に加えた。後継者がいないことで耕作放棄になっている。鳥取市としてどう考えているか伺いたい。

東部・中部・西部 地区協発

■2026春闘総決起集会に参加！！

2月27日(金)、あいにくの雨の中、県内3会場で開催された「2026春闘総決起集会」に、現退一致の取り組みとして各地区協議会からも役員・会員が参加して機運を盛り上げた。

写真左から 東部/JR鳥取駅前風紋広場
中部/倉吉体育文化会館前駐車場
西部/JR米子駅前だんだん広場

